

# 平成27年第3回教育委員会開催

3月5日に第3回の教育委員会を開き、次の議案などについて報告・審議されました。

## 【第3回委員会】

### 《議案》

・「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正に伴って、従来の教育委員長と教育長を一本化した新教育長が設置されるにあたり、関連する該当部分を改正するものです。

施行期日は平成27年4月1日です。  
(経過措置あり)

### 【関連規則等】

①日野町教育委員会会議規則の一部改正について

条文中、適用法・関係条項の改正、委員長を教育長に改める等

②日野町教育委員会会議傍聴規則の一部改正について

条文中、委員長を教育長に改める

③日野町教育委員会公告式規則の一部改正について

条文中、適用法・関係条項の改正、委員長を教育長に改める

④日野町教育委員会公印規程の一部改正について

別表中、委員長印を廃止

・日野町の小中学校の児童生徒にかかる体育大会などの選手派遣補助金の補助率を半額から全額に改正するものです。

施行期日は平成27年4月1日です。

①日野町立小中学校児童生徒等に係る

体育大会等選手派遣費補助金交付要綱の一部改正について

補助率を半額から全額に改正

### 《その他》

・日野町教育のあり方懇談会について

1月27日から2月26日にかけて、各小中学校・保育所で保護者ら関係者との意見交換を実施しました。

町が進めている「15年プラン」を軸に意見交換を展開し、学校だけでなく家庭での毎日の実践が、学力の向上、そして15歳での自立につながることを確認しました。

また、小学校統合について、「統合すべき」「現在のままで連携を取りながらがよい」「小中一貫校を考えてみては」など、さまざまな意見を聞かせていただきました。今後、広く町民の皆さまからの意見も聞きながら検討をしていきます。

### 《次回の予定》

日時…平成27年4月2日(木)

午後1時

場所…役場第1会議室

※会議は公開しています。お気軽におでかけください。

## 生涯学習社会の実現を目指して

### D o ・スポーツが西部地区町村社会教育協議会会長賞を受賞



▲森田会長（左）と中西康夫副会長

2月15日、第6回鳥取県西部地区町村社会教育研究大会が、日南町役場交流ホールで開かれ、D o ・スポーツ（森田勝彦会長）が、鳥取県西部地区町村社会教育協議会会長賞を受賞しました。

これは、地域での人づくりやふるさとづくり、まちづくりといった社会教育活動を通じて、地域の活性化を図った人や団体に贈られるものです。今回の受賞は、D o ・スポーツが発足以来19年間にわたり、各種スポーツ教室やスポーツ大会を自主的に開催するなど、地域スポーツの振興に貢献していることが認められたものです。

森田会長は「総合型地域スポーツクラブとして、今後もスポーツを通じ、生涯学習社会の実現を目指していきたい」と話し、さらなる活躍を誓いました。

### 今月の子育ての知恵袋④

### 豊かな心の育成

私は、歌が大好きです。わが子の子育ての時にも良く口ずさんでいました。

歌のある暮らしは、心穏やかでないといできませんが、そうありたいと心がけることで、自然とそうやっていくと思います。

鼻歌まじりの子育てを、私はおすすめします。

(黒坂 50代 女性)

日野町「子育ての知恵袋」より(平成24年3月 町教育委員会発行)

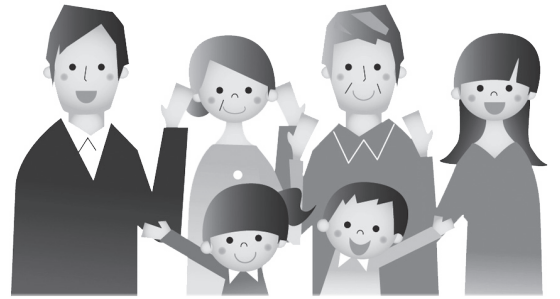
できるときに、できることを！

# 学校支援ボランティア募集中

学校からの依頼に応じて、  
教育活動を支援していく「**学校の応援団**」です。

例えば、こんなことを・・・

- ▶学習支援：本の読み聞かせ、自然・歴史の話、昔遊び、調理実習、書写、学習指導の手伝いなど
- ▶環境整備支援：花壇整備、除草作業、施設補修、庭木の剪定、田畑管理、図書整理など
- ▶安全確保支援：登下校の通学路の安全指導、見守りなど
- ▶学校行事支援：運動会補助、社会科見学補助、駅伝警備、文化祭指導など
- ▶部活動支援：指導



◆ボランティア登録の申し込みは、各学校、学校支援地域本部（教育委員会事務局内）などにある『学校応援人材バンク』登録申込書に記入し、学校支援地域本部または各学校などに提出してください。

【問合せ】 町学校支援地域本部（教育委員会事務局内 電話 72-2107）

【日野町図書館 おすすめの1冊コーナー】

## 読んでみたらんかな～

### 『クラバート』

プロイスラー 著・中村浩三 訳 / 偕成社

3月といえば、別れや旅立ちの季節。新たなる一步を踏み出そうとする時でもあります。今回紹介するのは「クラバート」。ドイツの児童作家・プロイスラーが11年かけ書き上げた物語です。14歳の孤児の少年・クラバートは不思議な夢をきっかけにシュヴァルツコルムの水車場に導かれ、親方の元で見習いとして働きながら魔法を学びます。

しかし、クラバートが働くこの水車場にはとにかく謎が多いのです。真夜中にクラバートが目覚めると、自分以外のみんなが日ごろ使うことのないウスを使ってなにかを引いているところを見てしまう。翌日見てみると、ウスのまわりには「歯」が落ちていた…。そのほかにも、新人に手を貸したものは罰を受けたり、水車場では一年で三年分も年を取るとか。恐ろしいのは、毎年大晦日には決まって十二人のうちの誰かが命を落とすこと。そして誰もなぜなのかは知らないのです。

クラバートは三年の間、親方に対抗するために一生懸命魔法を学びます。そのあいだにクラバートには好きな女の子ができますが、親方が彼女の命を狙っていることを知り、ついに親方と対決します。物語の中に流れるなんとなく不気味な雰囲気と、勇気をもって立ち向かおうとするクラバートの活躍にドキドキハラハラする、大人でも大満足の物語です。



（日野町図書館 田中 愛子）